

特殊堤パラペットの色彩について (現地)

1. パラペット修景方法について(検討の経緯)

(1) 塗装内容の検討

護岸と調和する石材調塗装とし、色彩はグレー系の白ミカゲ調としました。

特殊堤防護岸パラペット部塗装現地検討会 資料

H23年12月16日

(パラペット塗装比較案)

	防食塗装 (フッ素上塗)		石材調塗装	
	グレー系 (FN-60) *1	ベージュ系 (F22-70C) *1	グレー系 (NJR-06A) *2	グレー系 (NJR-07F) *2
フォトモン				
断面図・整備イメージ				
経済性・耐候性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済性 11,000 円/m²、耐候性 15~20 年。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 石材調仕上げをローラー塗装で再現する工法。 ・ 経済性 7,500 円/m²、耐候性 10 年。 	
景観特性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本塗装は、単調な印象となりやすいが、柱、笠木の凹凸により、その違和感は軽減される。 ・ 色は自由に選択可能である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 石材調塗装は、壁面全面に石材調となる。 ・ 色の指定は限定される。 	
	<p>グレー系は、下部の自然石積護岸と同系色であり、違和感ない調和が得られやすい。</p>	<p>ベージュ系は、下部の自然石積護岸とのコントラストを活かしつつ、類似色としての調和を図ることができる。</p>	<p>グレー系の白ミカゲ調は、自然石積護岸で用いる素材感との調和が求められるところだが、擬似的な印象は若干残る。</p>	

*1 : 日本塗料工業会色票番号 *2 : ジキトーンセラローラー(日本ペイント株) *3 : 日本ペイント株推奨工法

結果

- ・ フッ素塗装は、光があたった時に反射して目立って護岸と調和しない。また、高価でもある。
- ・ 反射がなく、護岸との調和に配慮し、石材調塗装とする。
- ・ 色は、経年的な調和(エイジング)を考慮し、グレー系の白ミカゲ調とする。

1. パラペット修景方法について(検討の経緯)

(2) 塗装色の確認

パラペット部塗装現地検討会を実施し、塗装・仕様を決定しました。



○ 石材調塗装の薄いグレー系となりました。

石材調塗装見本



グレー系白ミカゲ

特殊堤防護岸パラペット部
塗装現地検討会

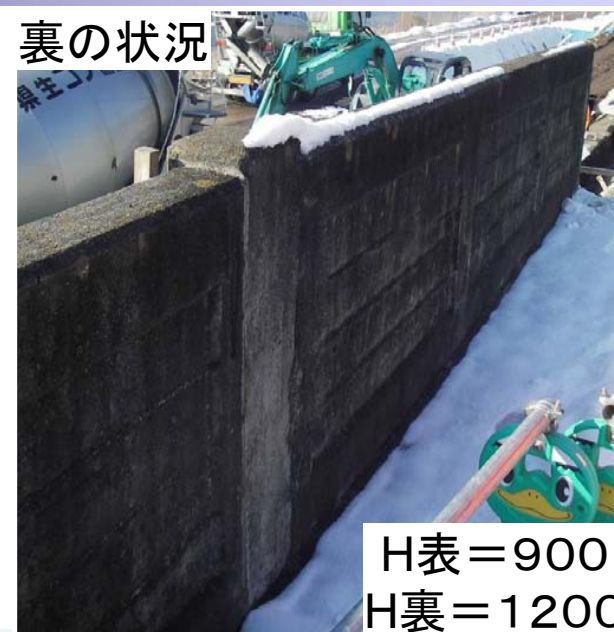
平成23年12月16日 3

2. 特殊堤パラペットの試験塗装について(現地確認)

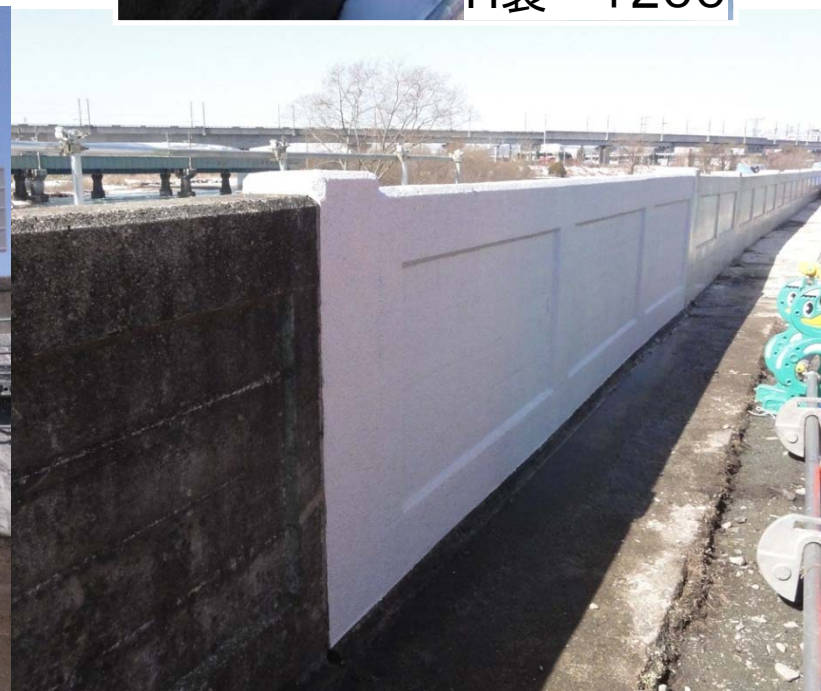
●試験塗装 (塗装前)



裏の状況



●試験塗装 (塗装後)



2. 特殊堤パラペットの試験塗装について(現地確認)



●現地確認結果